



マルチリンガル・アパレルCAD  
パターン検索配信システム

パタパタモードくん

<ビュープリント>  
操作マニュアル  
F・つくりえーたー用

2010年9月30日版

J.C.Systems, Inc.

## 目次

はじめに . . . . .	P. 3
画面の表示操作方法 . . . . .	P. 7
共通コマンド . . . . .	P. 13
パターンメイキング<修正> . . . . .	P. 26
マーキング . . . . .	P. 28

## はじめに

<パタパタモードくん>ビュープリントは、パタパタモードくん CAD システムで作成したファイルをそのまま読み込み、出力することを目的としたソフトウェアです。

このマニュアルには、F・つくりえーたーでパターン（型紙）をデータで購入した方のために、実寸大のパターン（型紙）とマーキングシート（型紙配置図）をプリンターで印刷するために必要な機能の操作方法が記載されています。

### <基本操作について>

#### ◆<パタパタモードくん>を起動する

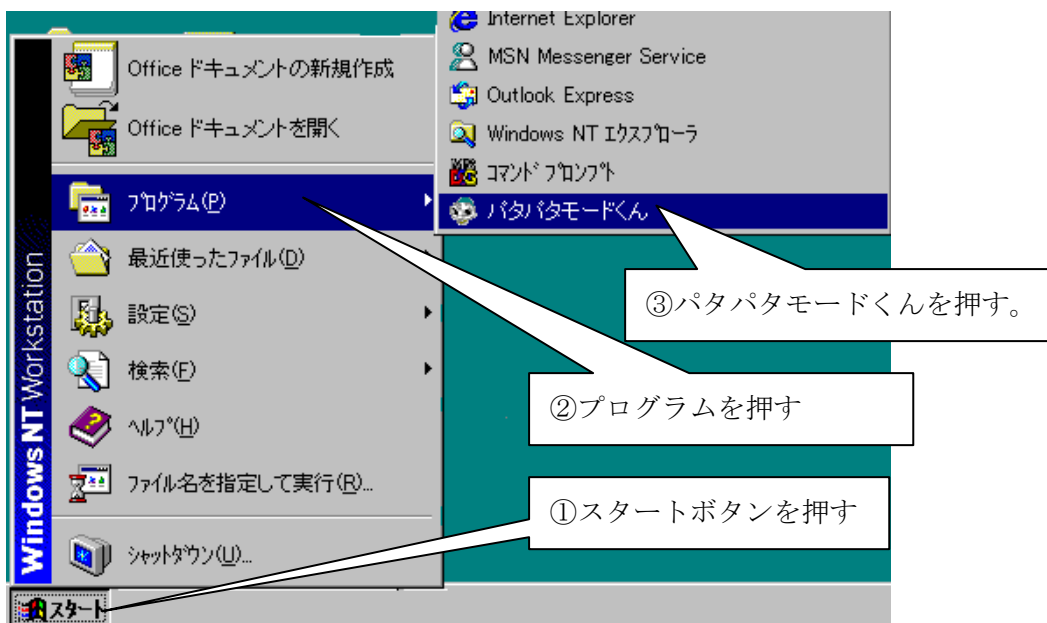
起動の仕方は以下の2通りです。

1. <パタパタモードくん>のアイコンをダブルクリックします。

<アイコンのイメージ>

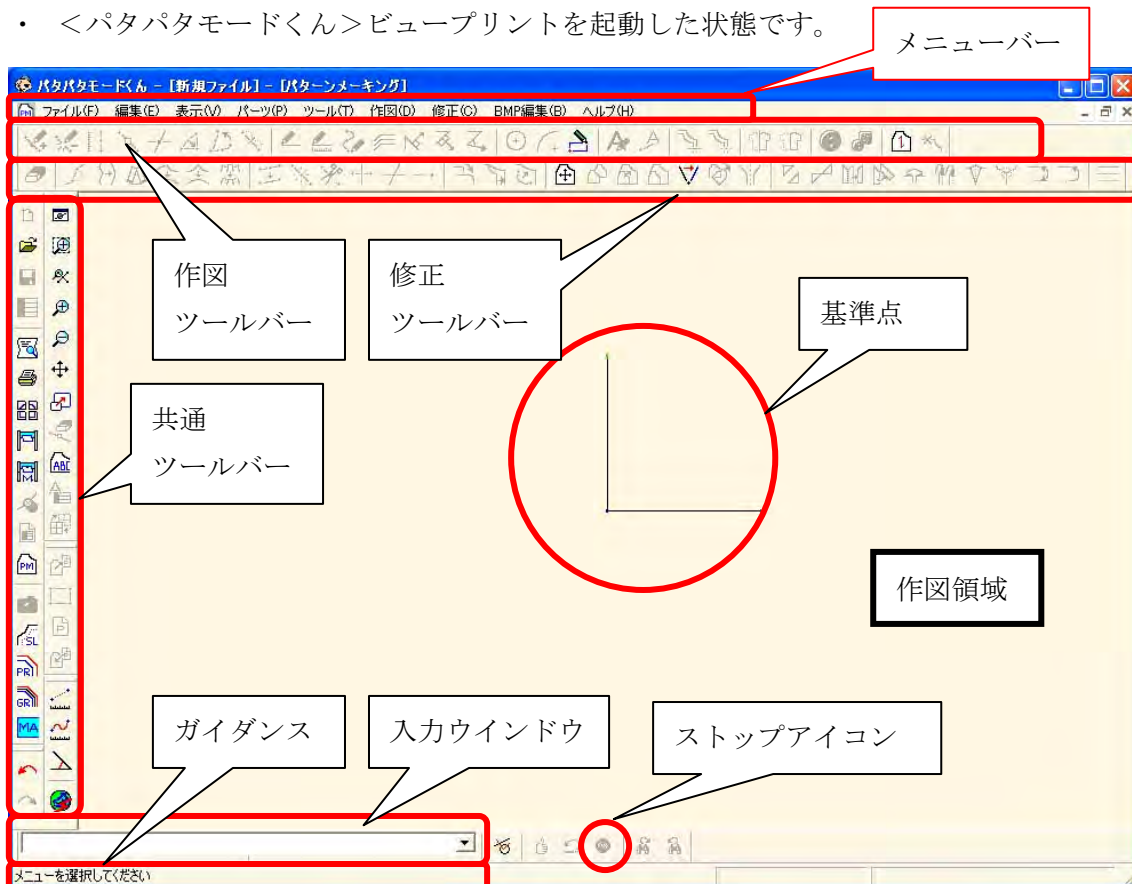


2. 「スタート」 → 「プログラム」 → 「パタパタモードくん」 をクリックします。



## ●メインウインドウ

- ・ <パタパタモードくん>ビュープリントを起動した状態です。



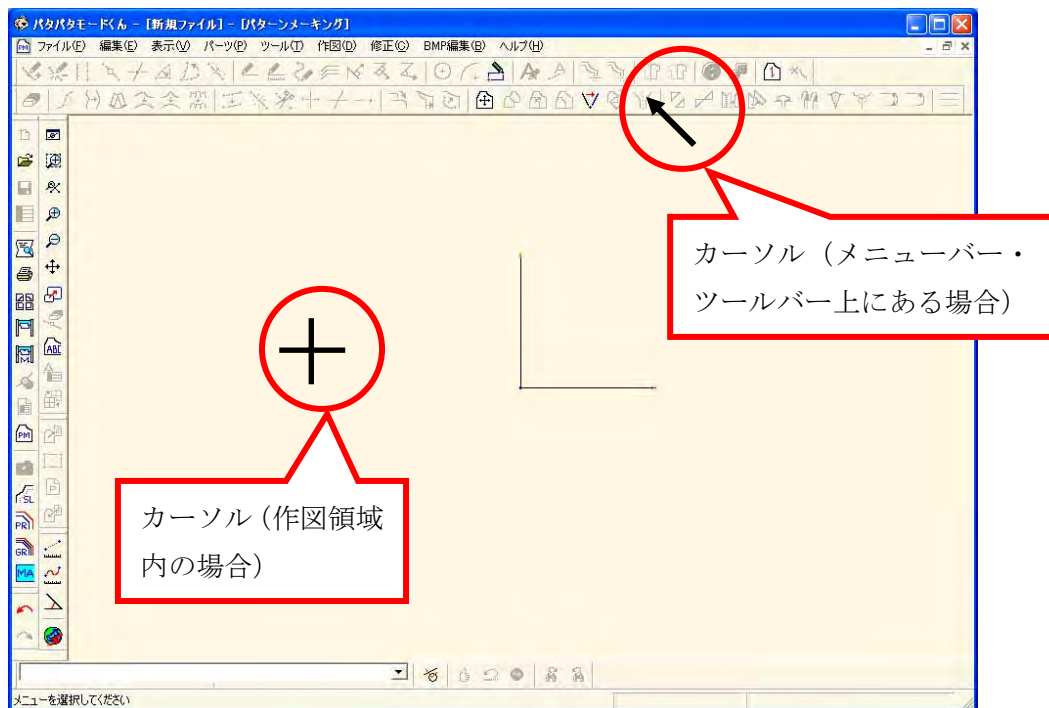
## ●各画面の説明

- メニューバー・・・コマンドを選択して実行できます。操作については後の「コマンド実行の方法」で説明します。  
グレーで表示されているコマンドは、コマンド名と説明のみ表示されますが、ビュープリントでは使用できません。
- 作図領域・・・実際に図面が描かれる領域です。この領域はズーム機能を利用することにより図面全体から細部まで自由な表示範囲を選ぶことができます。
- ツールバー・・・よく使われるコマンドがボタン化されています。ボタンをクリックすると、それぞれのコマンドを実行できます。  
グレーで表示されているコマンドは、コマンド名と説明のみ表示されますが、ビュープリントでは使用できません。
- 基準点・・・画面の基点 (0,0) と XY の方向を表示しています。プロッタ出力範囲の時に原点になります。
- 入力ウインドウ・・・長さや座標値といった数値を入力できます。
- ガイダンス・・・コマンドの内容や、次の操作手順、現在の状態などを表示します。

○ストップアイコン・・・ここを押すと、コマンドを途中でキャンセルできます。  
 キーボードの「ESC キー」を押しても同様にキャンセルできます。

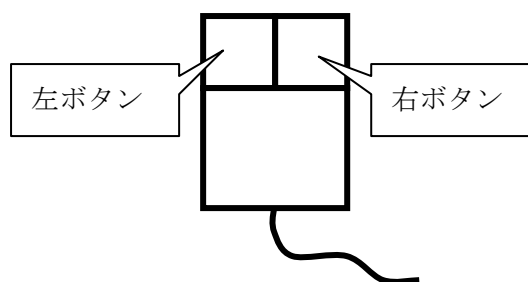
● マウスを動かしてみる

作図領域内でマウスを適当に動かしてみましよう。作図領域内では十字形のカーソルが表示されます。



● マウスボタンの操作方法

<パタパタモードくん>ではマウスの左ボタン、右ボタンの両方を使用して操作します。マウス操作には次の4つがあります。



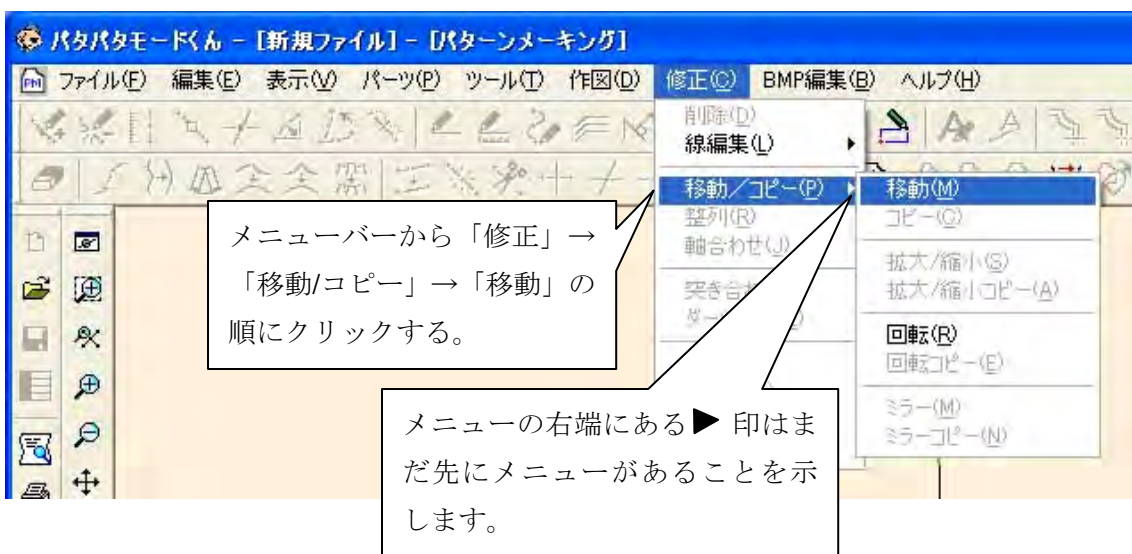
操作名	操作方法	用途
クリック	左ボタンを1回だけ押す	位置の指定・図形の指定 コマンド・メニューの指定
右クリック	右ボタンを1回だけ押す	選択した線の決定
ドラッグ	左ボタンを押した状態でマウスを移動し、最後にボタンを離す	図形の移動・位置の移動
ダブルクリック	左ボタンをすばやく2回押す	アプリケーションの起動

## ● コマンド（機能）実行の方法

コマンドを実行するためには、以下の2通りの方法があります。

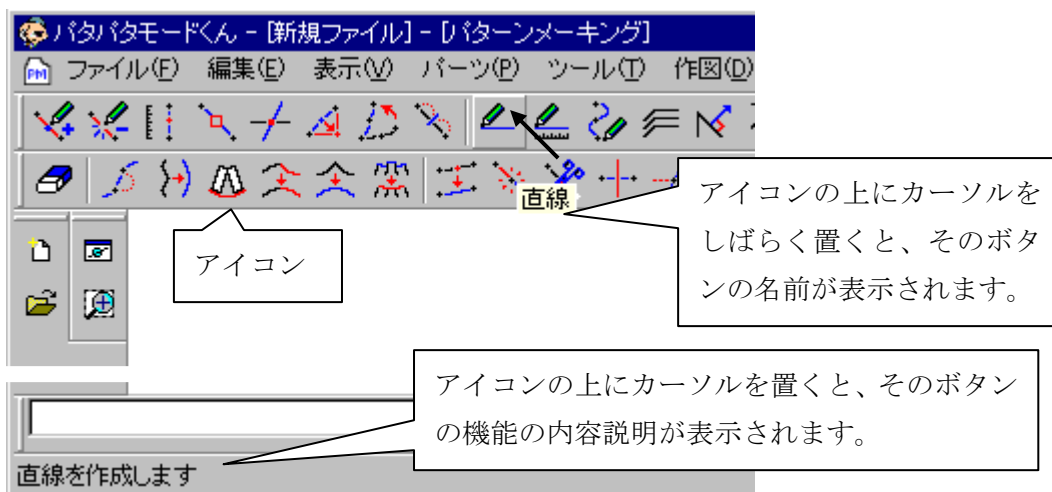
### 1. メニューバーからコマンドを選択する。

コマンドはグループに分けてメニューに登録されています。メニューバーのメニューをクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。希望するコマンドをクリックして選択します。



### 2. アイコンをクリックする。

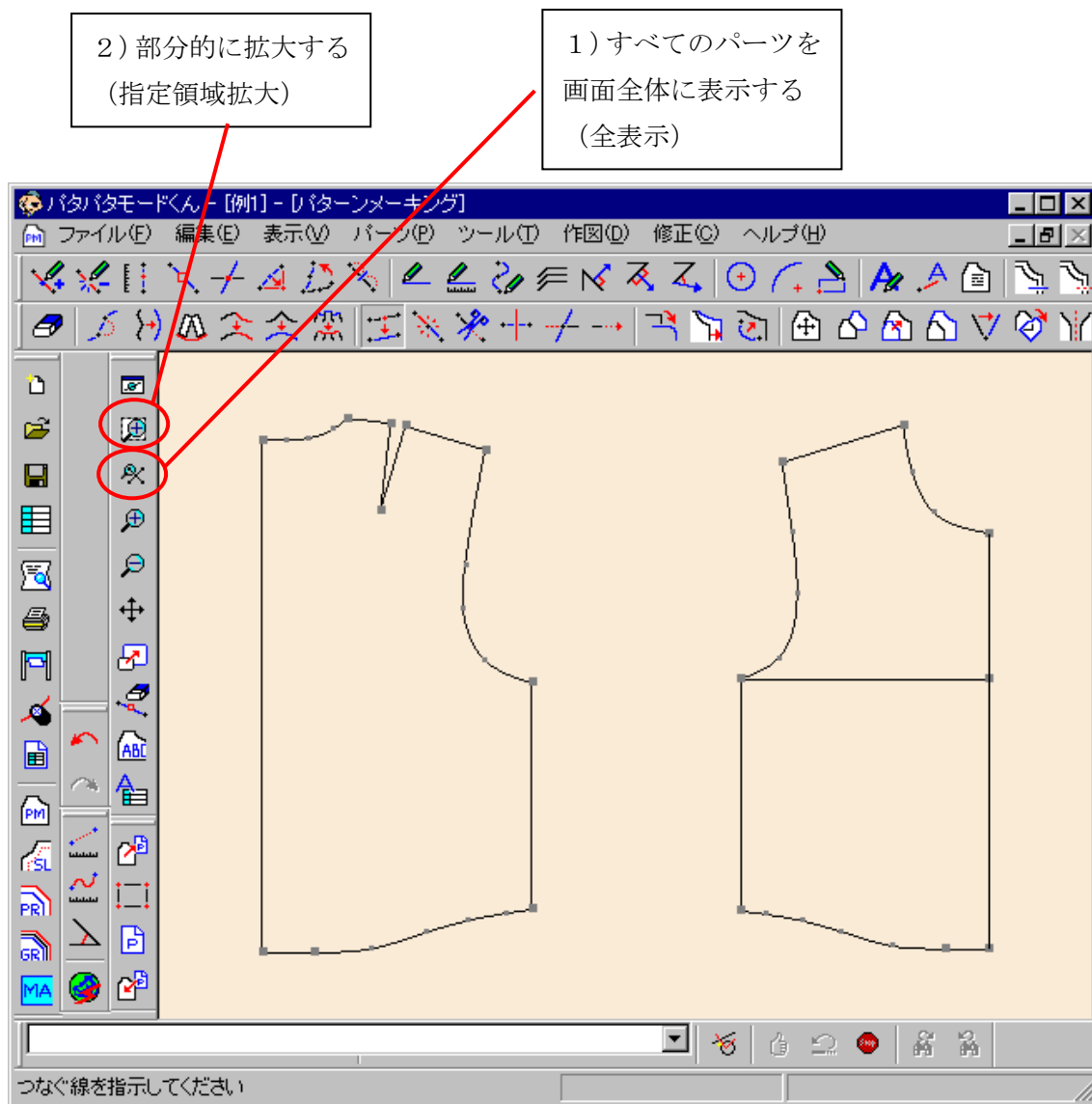
よく使うコマンドがすでにボタン化されているものを「アイコン」と言います。このアイコンをクリックすると、そのボタンに割り当てられたコマンドが実行されます。



※その他一部の機能ではキーボードからの実行も可能です。

## 画面の表示操作方法

<パタパタモードくん>での主な5つの表示方法を紹介します。



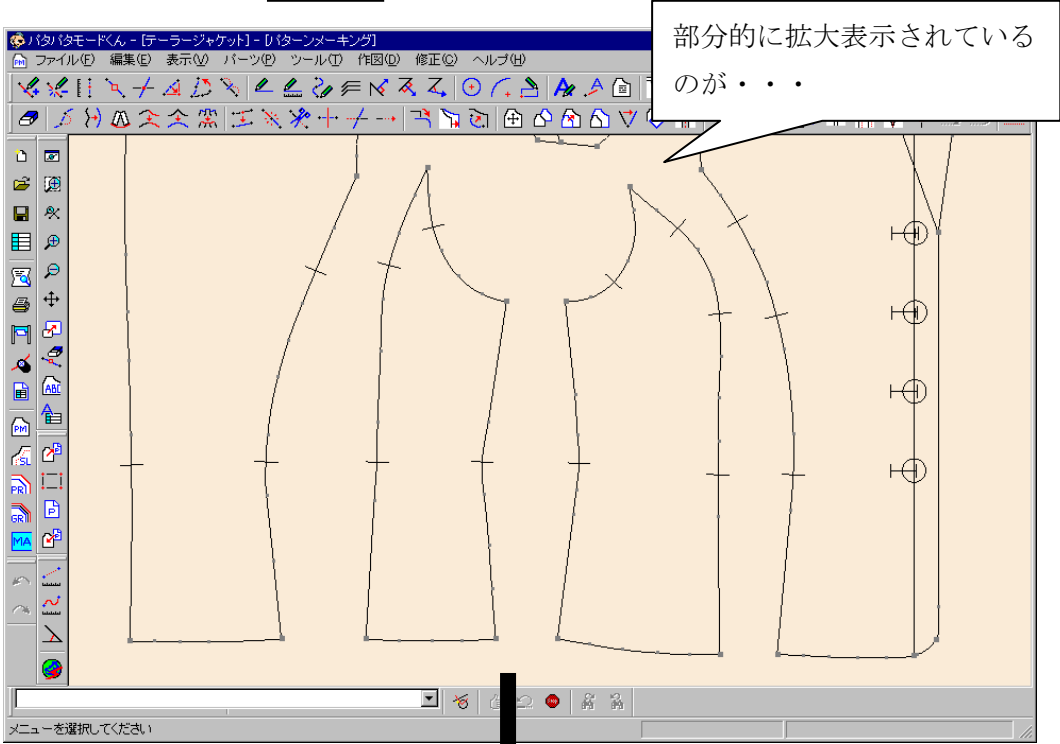
3) 位置を少し動かしたい  
(リアルタイムパン)

4) 大きさを少し変えたい  
(リアルタイムズーム)


5) 実寸大で表示したい  
(倍率指定 100%)

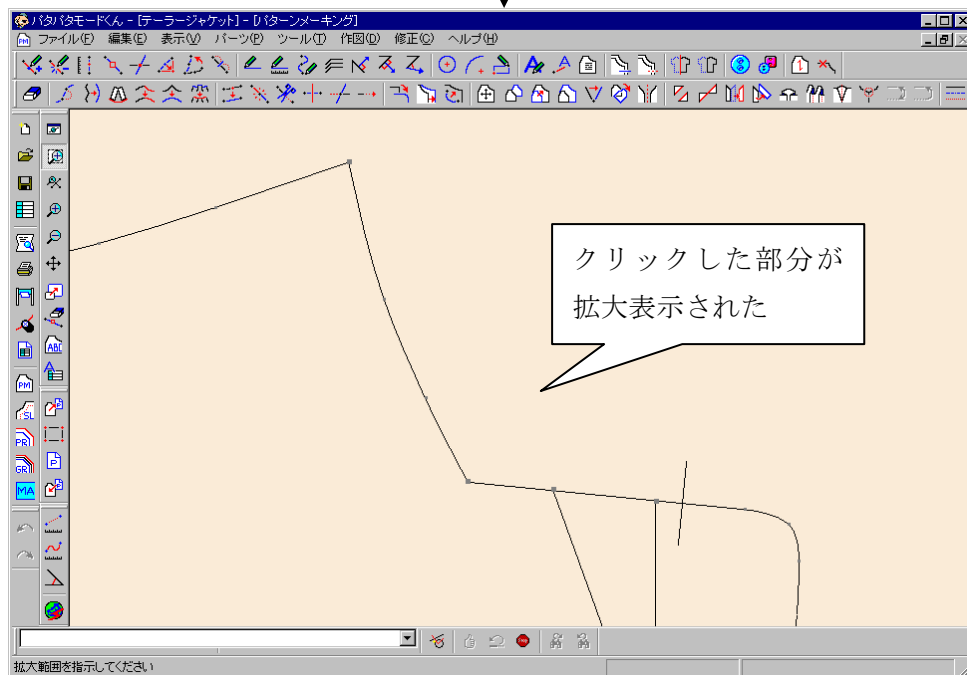
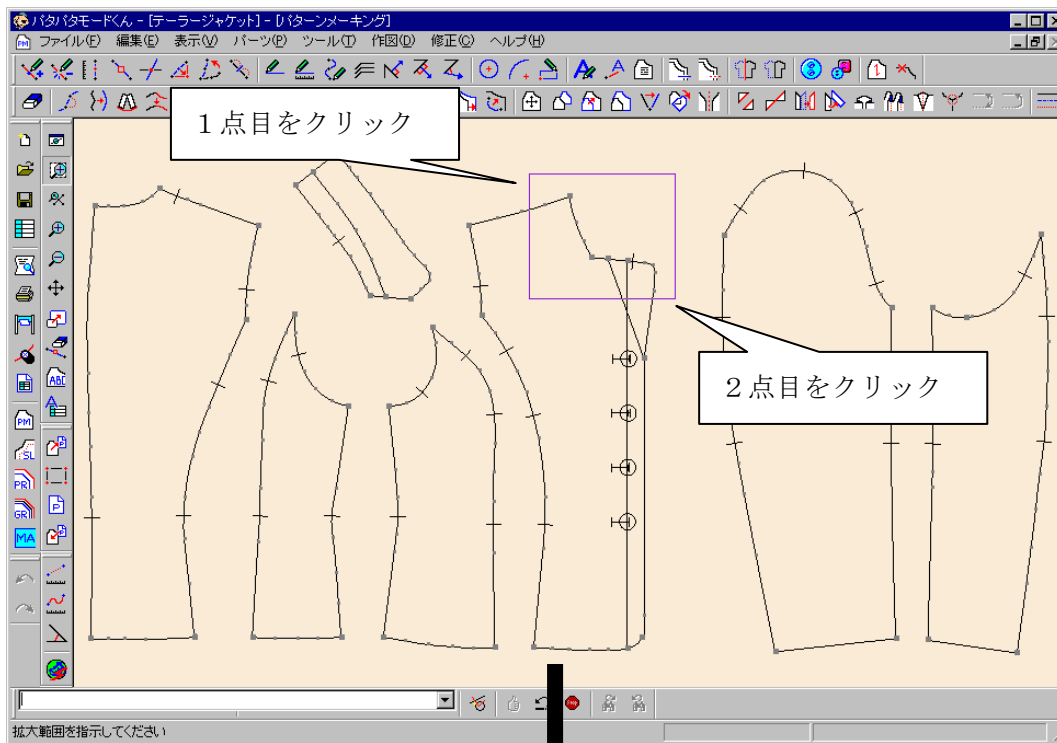
# 1) すべてのパーツを画面全体に表示する (全表示)

全表示のアイコン  をクリックします



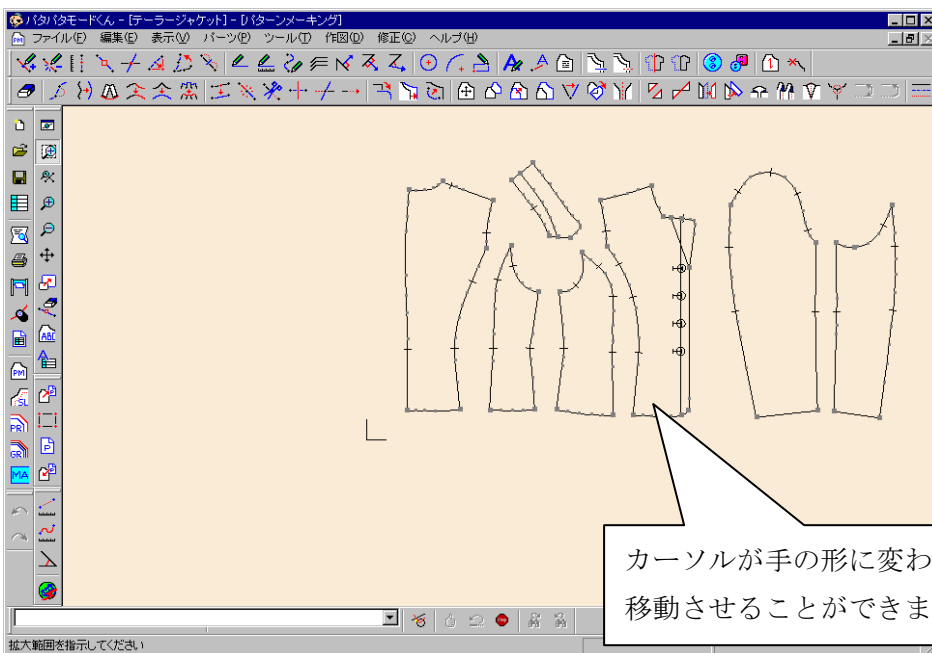
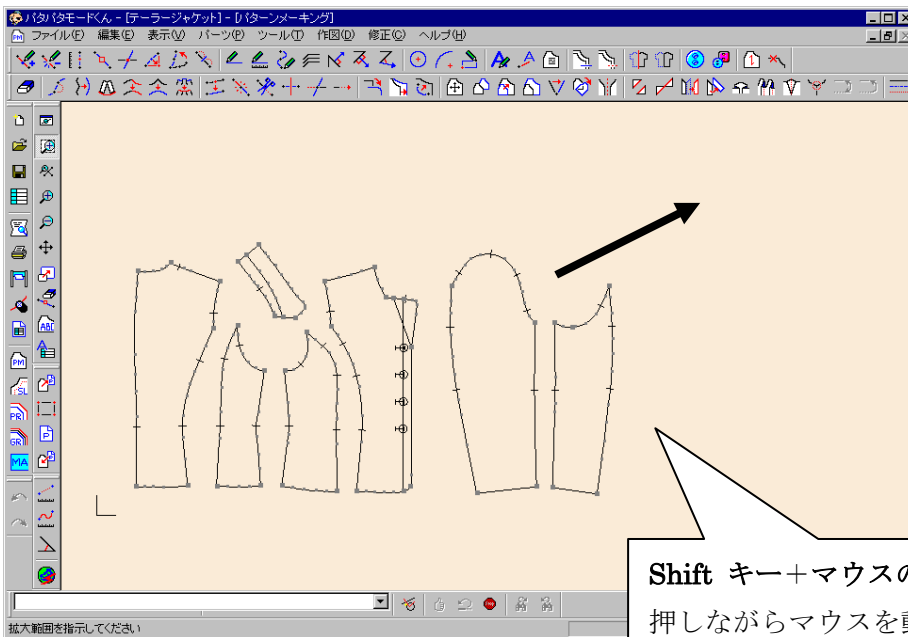
## 2) 部分的に拡大する (指定領域拡大)

① 指定領域拡大のアイコン  をクリックします



### 3) 位置を少し動かしたい (リアルタイムパン)

位置を見ただ目で動かしたい場合 (リアルタイムパンといいます) キーボードの **Shift** キーを押しながら、**マウスの右ボタン**を押しながら動かす (ドラッグ) と、カーソルが手の形になり、画面を動かすことができます。



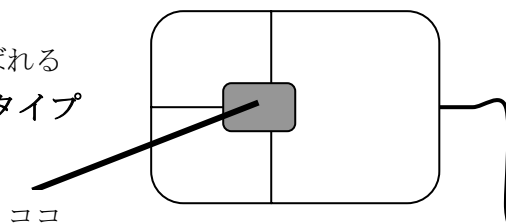
#### 4) 大きさを少し変えたい (リアルタイムズーム)

表示の大きさを見ただ目で大きくしたり、小さくしたりしたい場合 (リアルタイムズームといいますが) キーボードの **Ctrl** キーを押しながら、マウスの右ボタンを押しながら動かす (ドラッグ) と、カーソルが虫眼鏡の形になり、表示の拡大・縮小ができます。



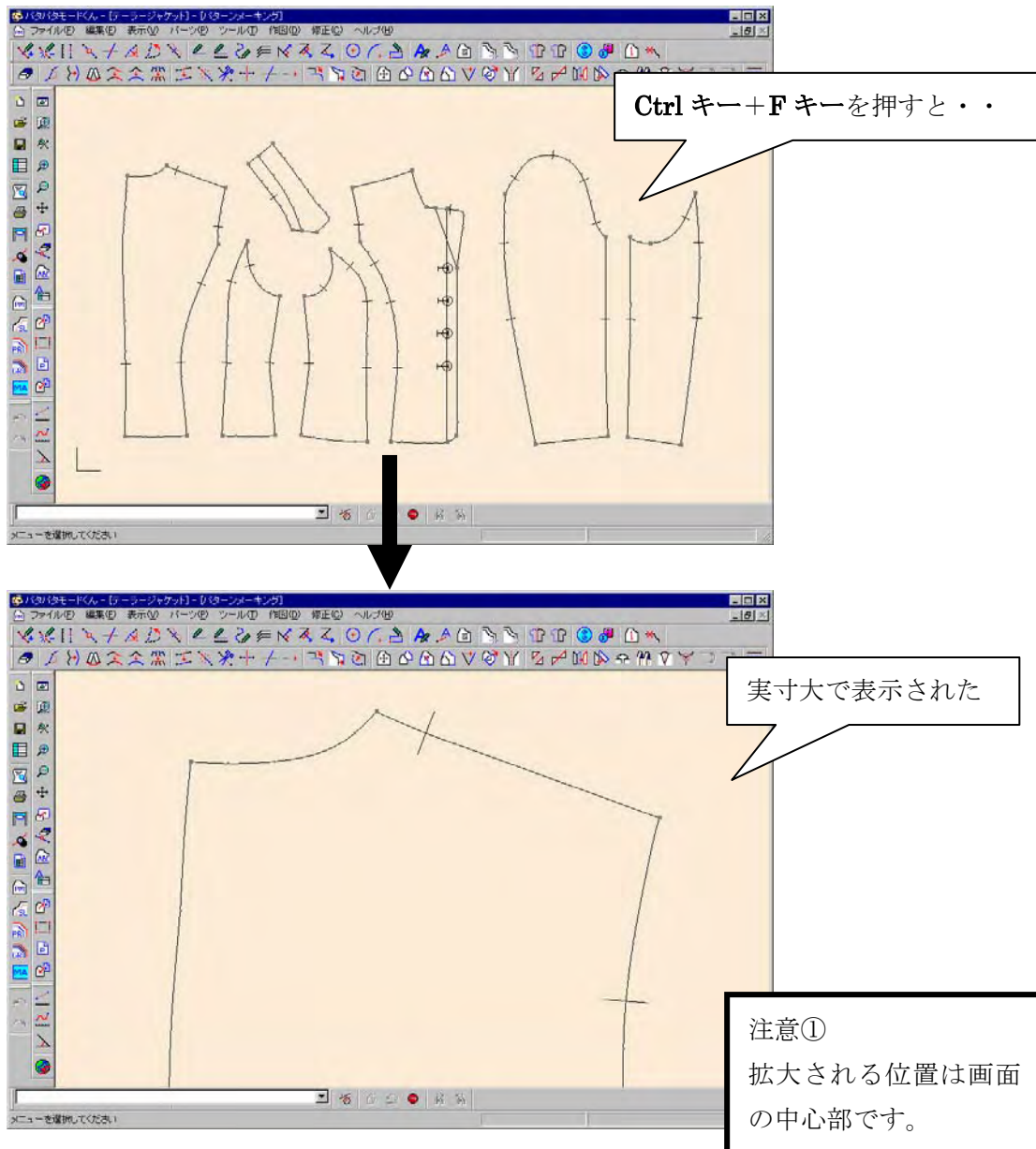
#### ポイント

使っているマウスが「インテリマウス」と呼ばれる真ん中にスクロールボタンの付いているタイプであれば、ボタンを回転させることでも拡大・縮小表示ができます。



## 5) 実寸大で表示したい (倍率指定 100%)

パターンは画面の中で、実寸大で描かれていますが、表示を実寸大にしたい時 (100%表示) はキーボードの **Ctrl キー** と **F キー** を同時に押すと、設定に応じて実物大に表示できます。



### 注意②

画面の大きさは「ツール」→「システム設定」→「モニタサイズ」で設定してください

## ● 共通コマンド（ファイル～ツール）

<パタパタモードくん>の特徴の一つとして、「画面を切り替えることで作業内容を変更できる」というものがあります。例えばパターンメイキングからグレーディングへ移る時にアイコンをクリックするだけで、画面を切り替えて作業を続けることができます。これにより、別ソフトを起動させてファイル操作をする必要がなく、1つのスタイルに対して1つのファイルを管理すれば良いのです。

作業内容を変更すると同時にメニューも切り替わるのですが、作業画面が変わっても切り替わらないメニューがあります。それが「共通コマンド」と呼ばれるメニューです。これらはファイルを保存したり、拡大表示したり、長さを測ったりと、どんな画面でも利用できるメニューになります。

ファイル、編集、表示、パーツ、ツール がそれにあたります。

この章では、共通コマンドのメニューについての機能を説明いたします。

### ● ファイル（F）

#### ◆ 開く（ショートカットは Ctrl+O ）



作成されたファイルを開く

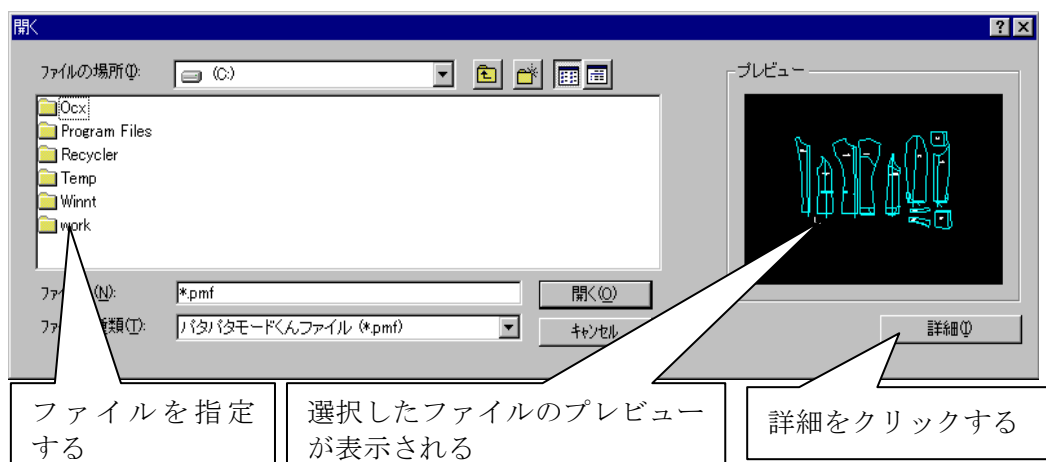
「ファイル」→「開く」

図面ファイルのダイアログボックスが表示され、開きたい図面のあるドライブ、ディレクトリ、ファイル名を選択し、確定ボタンをクリックする

ファイル名をクリックした際、選択したファイルをプレビュー画面で確認できる。

（ファイルの指定の仕方は通常の windows 操作と同じものとする。）

<ダイアログのイメージ>



詳細ボタンを押すと下記のダイアログが表示され、製品番号、ブランド名、品名、作者名が表示される。（ここでは表示のみ）閉じるボタンでウインドウを閉じる。

## ◆印刷プレビュー

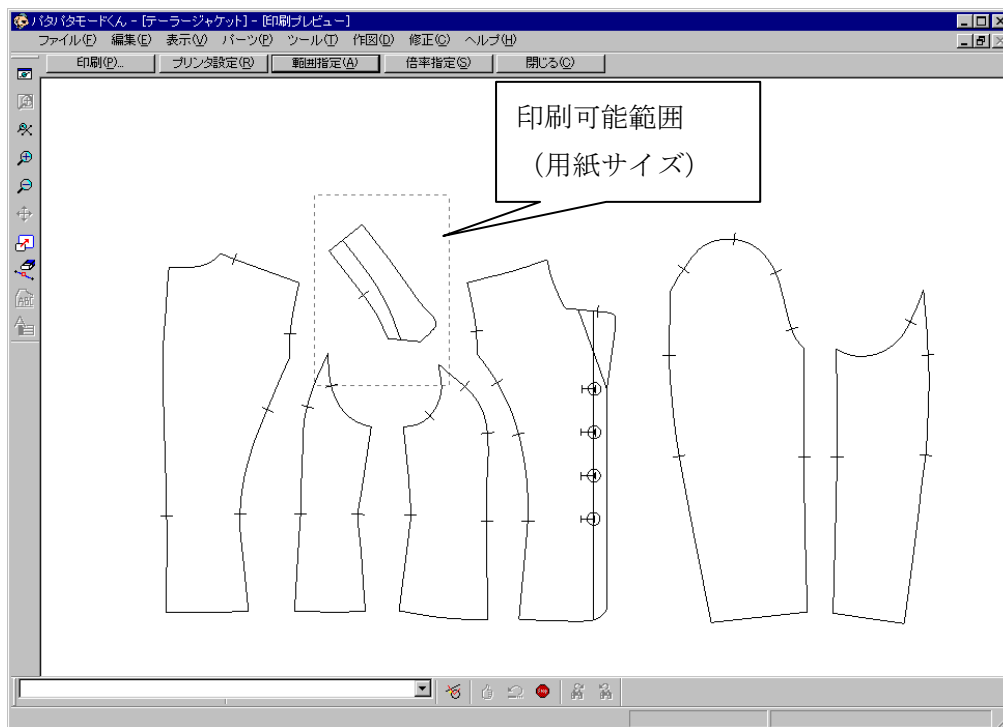
印刷した時の状態を表示する。

「ファイル」→「印刷プレビュー」

下記のダイアログボックスが表示される。



プレビュー画面イメージ



「印刷」・・・プリント開始。

「プリンタ設定」・・・プリンタの選択や、用紙サイズの変更などができる。

「範囲指定」・・・プリントできる範囲（用紙サイズ）を表示し、クリックした位置の範囲を出力できる。

マウスのスクロールボタンを動かすと倍率の変更ができる。

「倍率指定」・・・倍率を変更できる。

「閉じる」・・・プレビュー画面を閉じる。

※ 印刷設定は「プリンタの設定」のコマンドでも行うことができる。

※ 左にある表示のツールバーでアイコンをクリックして、表示の大きさを変えることも可能（グレーになっているものは使用不可）

◆印刷（ショートカットは Ctrl+P ）

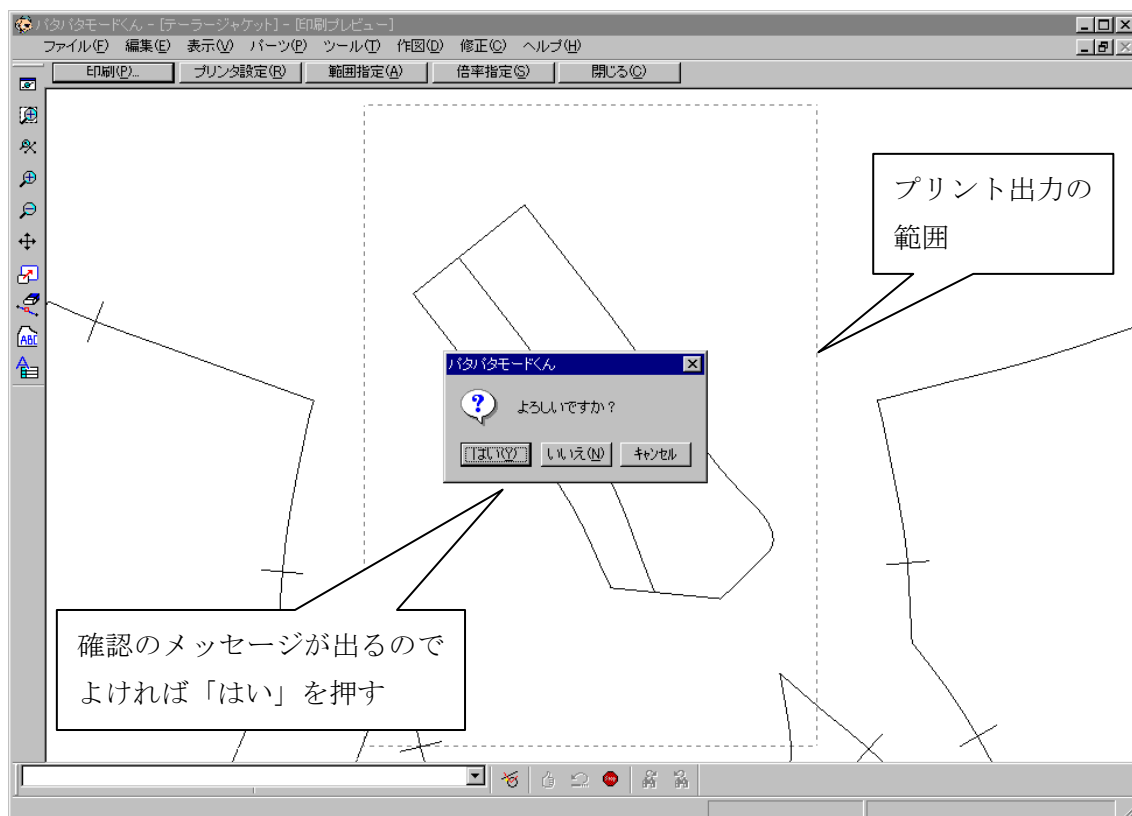
図面をプリントアウトする。

「ファイル」→「印刷」

プレビュー画面に切り替わり、確認のメッセージが出るので「はい」を押す。

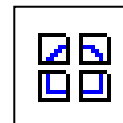


ダイアログ画面イメージ

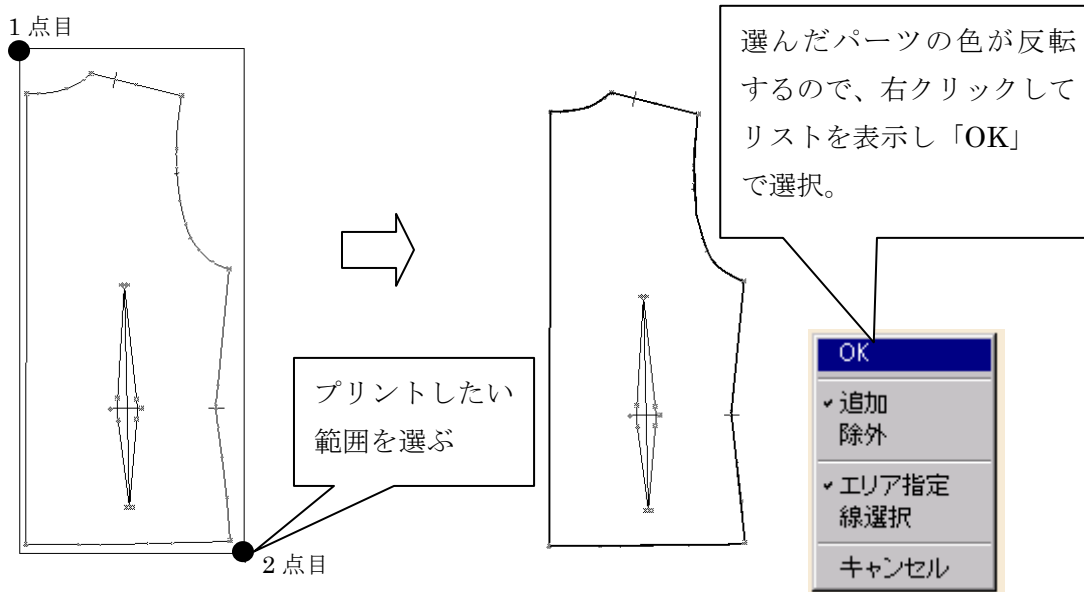


◆パズルプリント（実寸大のパターン（型紙）を自動分割出力する機能）

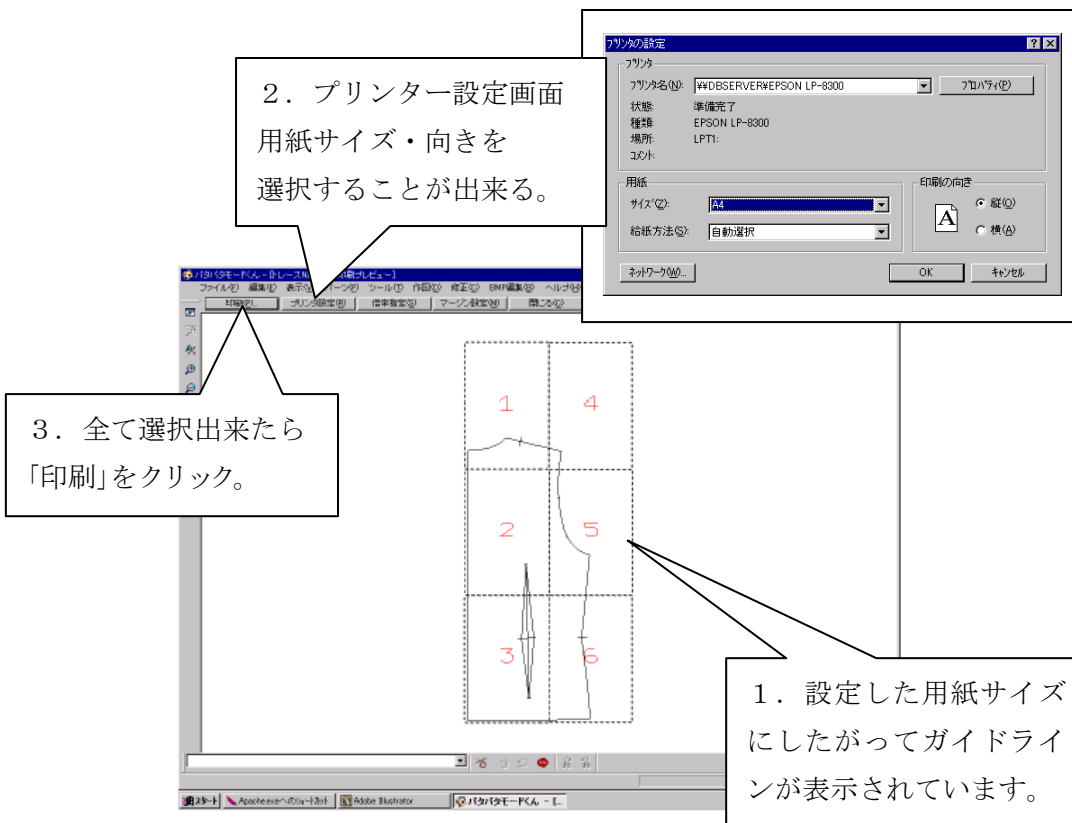
1. 「パズルプリント」アイコンをクリックし 出力したい範囲を囲むように2点クリックして選択し、右クリックして「OK」を押す。



ワサの箇所がある場合は、展開するかどうかの確認ダイアログが表示されるので、「はい」か「いいえ」をクリックすると、印刷プレビューが表示される。



2. 印刷プレビュー画面が表示されます。





● 編集 (E)

● 表示 (V)

◆再描画 (ショートカットは **Ctrl+R** )

図面を再描画し、残っている余分な線を消去する。

「表示」 → 「再描画」



◆全表示 (ショートカットは **Home** キー)

図形の全体を表示する。

「表示」 → 「全表示」



◆指定領域拡大

指定した範囲を画面いっぱいに拡大表示する。

「表示」 → 「指定領域拡大」



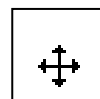
◆画面移動

クリックした位置が画面の中心にくる。

「表示」 → 「画面移動」

※続けて何回でもできる。

※ (**Shift** キー+右ドラッグ) でカーソルが手の形になり、リアルタイムで画面を動かすことができる。



◆XY平面 (ショートカットは **Shift** キー+**Home** )

X方向・Y方向を水平・垂直に整える。

「表示」 → 「XY平面」

◆倍率指定 (100%のショートカットは **Ctrl** キー+**F** )

表示倍率を指定する。**100%は実寸大**の表示になる。

※ 50、75、100、200、400 %の倍率が選択できる。

※モニターの解像度から、大きさを判別するため「ツール」 → 「システム設定」 →

「モニタサイズ」で使用しているモニターの大きさを入力し、設定する。

◆ ++/-- <ズーム> (ショートカットは PageUp/PageDown )

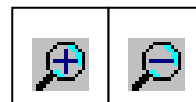
(++) で拡大表示、(-- ) で縮小表示できる。

「表示」 → 「++」 (「--」)

※続けて拡大 (縮小) できる。

※ (Ctrl キー+右ドラッグ) でリアルタイムズームができる。

右へ移動→縮小、左へ移動→拡大。



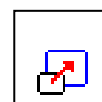
◆ 前画面表示

現在表示している画面の直前の画面を表示する。

「表示」 → 「前画面表示」

➤ ファイルを開いた直後など、直前の画面がない場合は変化しない。

➤ 複数回可能



◆ 構成点表示 (ショートカットは Ctrl+D )

現在表示しているラインの構成点を表示/非表示の切り替えをする。

「表示」 → 「構成点表示」

◆ ワサ展開

ワサ指定しているパーツをワサ展開した状態で表示する。

「表示」 → 「ワサ展開」

※展開はイメージのプレビューであり、他のメニューに入ると消えてしまう。

◆表示サイズ変更

表示サイズを指定して変更できる。

「表示」→「表示サイズ変更」

①表示したいサイズをクリックして選択できる。

②ネスト(全サイズの重ね書き)で表示したい場合はクリックする。

③チェックをつけると、縫代が表示される。

④表示更新ボタンを押すと、表示が変更される。

◆ツールバー

ツールバーの表示・非表示の切り換えを行う。

「表示」→「ツールバー」をクリックする。

ダイアログボックスが表示されるので、作業画面に表示させたいツールバーのチェックボックスにチェックを入れ（クリックでON・OFF切り替え）OKボタンを押す。



共通メニュー(C)

パターンメイキング(P)

ファイル  
編集  
表示  
パーツ  
ツール  
アテンション

作図  
修正

OK  
キャンセル  
適用(Alt)

● ツール (T)

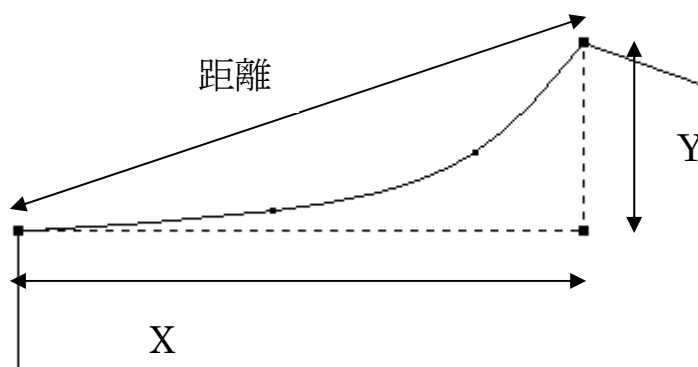
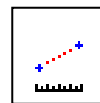
◆ 距離計測

2点間の線の長さ $\Delta X$   $\Delta Y$ の座標値を測定します。

「ツール」→「距離計測」

計測したい2点を指示すると赤い点で2点が表示され、ダイアログボックスが開き、 $\Delta X$ 、 $\Delta Y$ 、2点間の直線距離を表示する。

右クリックで合計値が表示される。



<ダイアログボックスのイメージ>

項目	$\Delta X$ (mm)	$\Delta Y$ (mm)	距離(mm)
1-AB間	206.1	0.0	206.1
1-CD間	0.0	258.5	258.5
1-EF間	206.1	0.0	206.1
合計	412.2	258.5	670.7

OK

※表示されたダイアログボックスは、コマンドが終了しても画面に残る。

(消すときは OK ボタンを押す。)

※小数点第1位まで表示される。

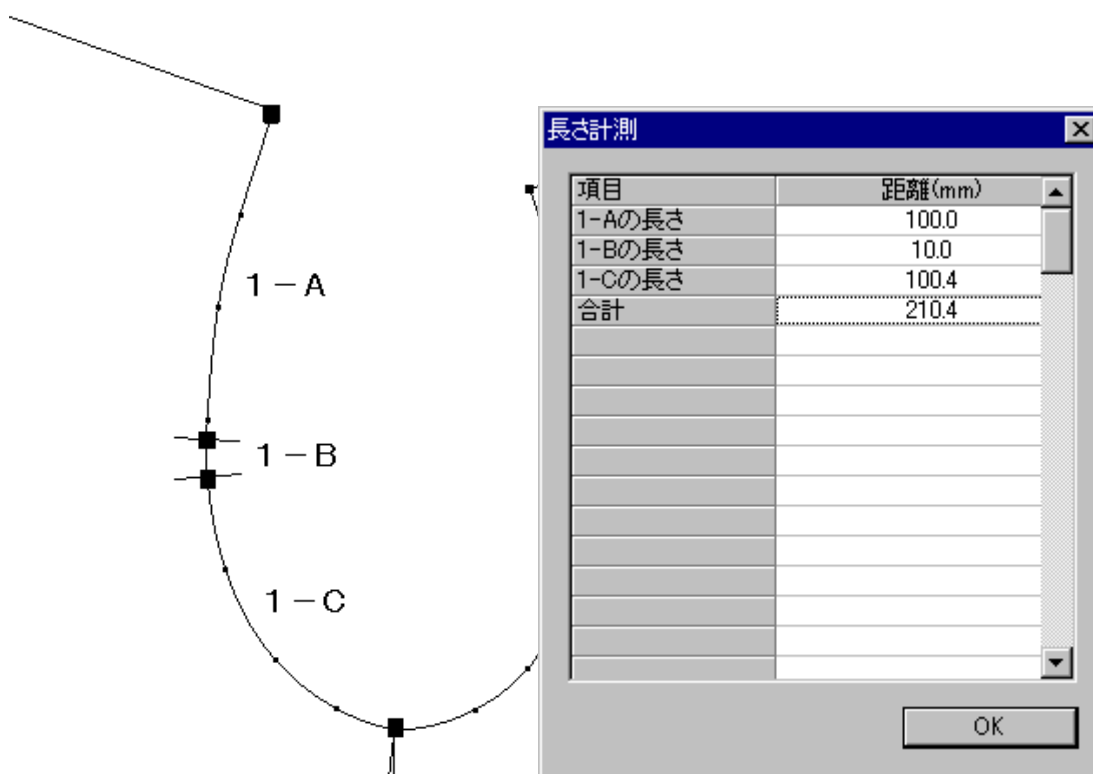
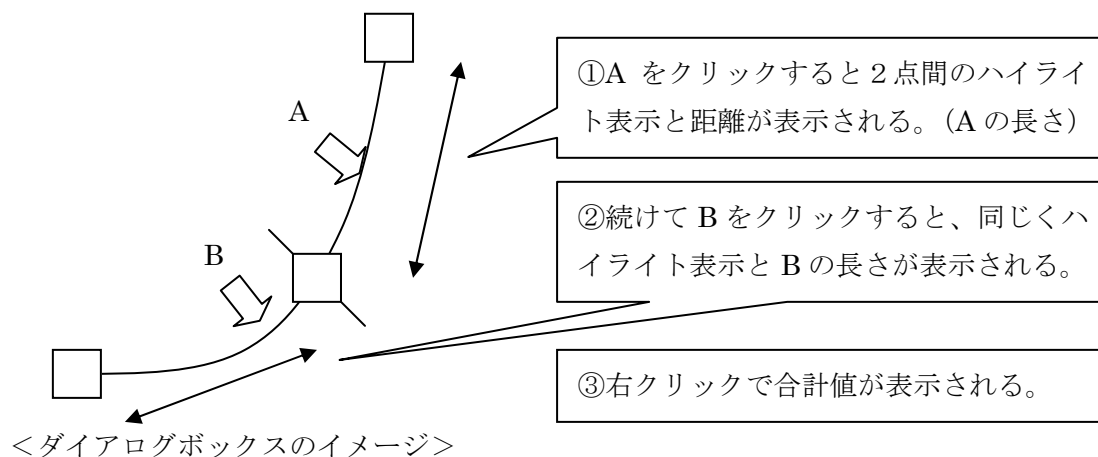
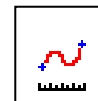
※ボックスが開いている間、最後に選択した点が、ハイライト表示されている。(赤点)

※テキストウインドを閉じると同時にハイライト表示は消える。

◆長さ計測

端点—端点、端点—ノッチ、ノッチ—ノッチの線分の実長を計測する。

「ツール」→「長さ計測」



※表示されたダイアログボックスは、コマンドが終了しても画面に残る。

(消すときはOKボタンを押す。)

※小数点第1位まで表示される。

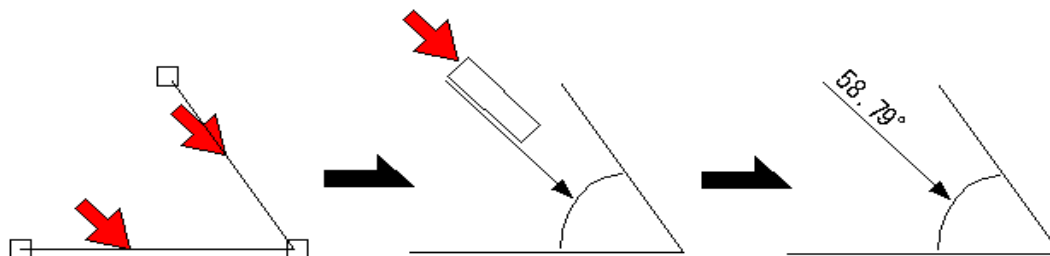
※合計が出るまで選択曲線がハイライト表示される。

※ハイライト表示された曲線を再度クリックすることにより、未選択状態に戻せる

#### ◆角度計測

2線間の角度を計測する。

「ツール」→「角度計測」



①角をなす線分の2本を指定する。

②表示したい場所にドラッグして指定。

③実行。

※角度は小さい方が表示される。

※選択できる線は直線のみではなく、円・曲線も可能である。円・曲線を選択した場合、接線ベクトルの角度が表示される。

#### ◆電卓

Windowsの電卓機能呼び出す。

「ツール」→「電卓」

クリックすると、Windowsの電卓機能画面が表示される。

キーボードから数字や記号を入力し、計算できる。

<電卓>



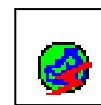
#### ◆URL接続

クリックすると、インターネットに接続し、<パタパタモードくん>のWebページを表示することができる。

「ツール」→「URL接続」

クリックするだけで、インターネット・エクスプローラーが起動し、ダイアルアップの接続のダイアログボックスが表示される。

「接続」ボタンを押して、接続すると、<パタパタモードくん>Webページが表示される。



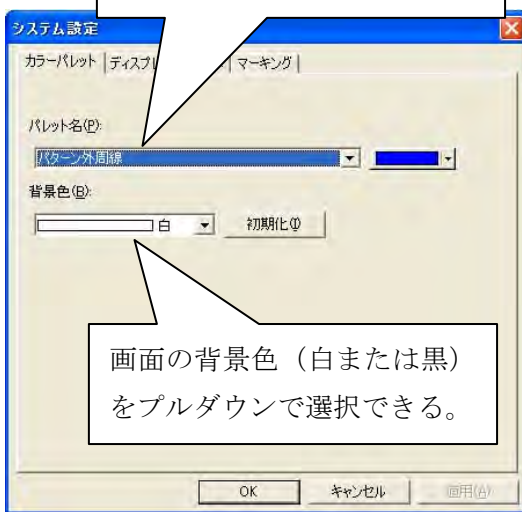
#### ◆システム設定

さまざまなシステムの設定を行う。それぞれの項目は下記の通り。設定後 OK ボタンを押して決定する。

「ツール」 → 「システム設定」

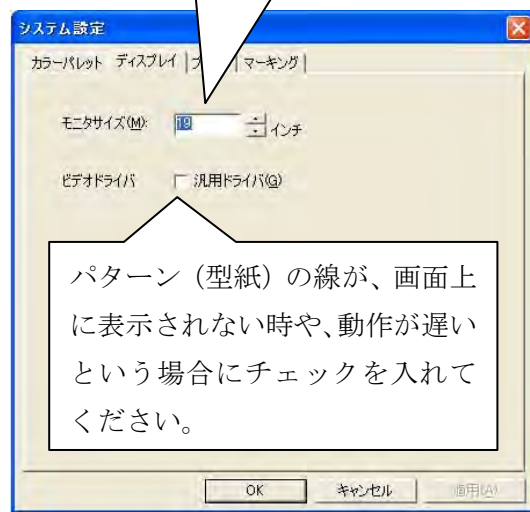
##### ① カラーパレット

線種と、該当する色をそれぞれプルダウンで選択できる。

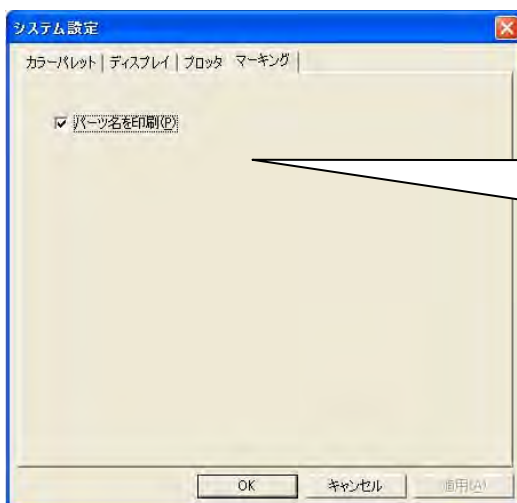


##### ② ディスプレイ

モニタサイズを入力する



##### ④ マーキング



※OK ボタンを押して決定すると、ビデオドライバの汎用ドライバにチェックを入れている場合、下記のダイアログが表示されます。



OK をクリックしてから、  
パソコンを再起動してくだ  
さい。

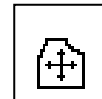
●パターンメイキング<修正>

◆移動/コピー

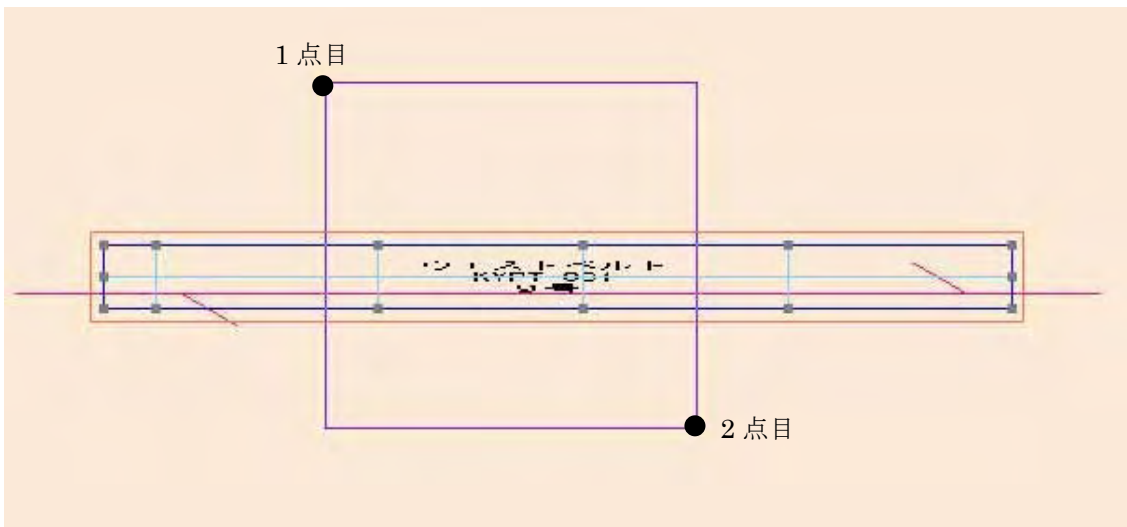
◇移動

線や文字・パーツ等を移動します。

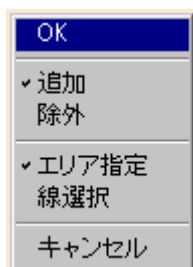
「修正」→「移動/コピー」→「移動」



①マウスで1点目と2点目をクリックして範囲選択する。



②右クリックすると下記のリストが表示されるので、OKをクリックする。



③選択したパーツ内の線をクリックすると、マウスにパーツが付いてくるので、下記の A または B の方法で移動させる。

A : マウスを動かし、任意の位置をクリックし移動する

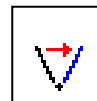
B : 移動量をキー入力する (X,Y 座標値)

※パーツ内の文字を移動する場合は、Shift キーを押しながら、文字を選択する。

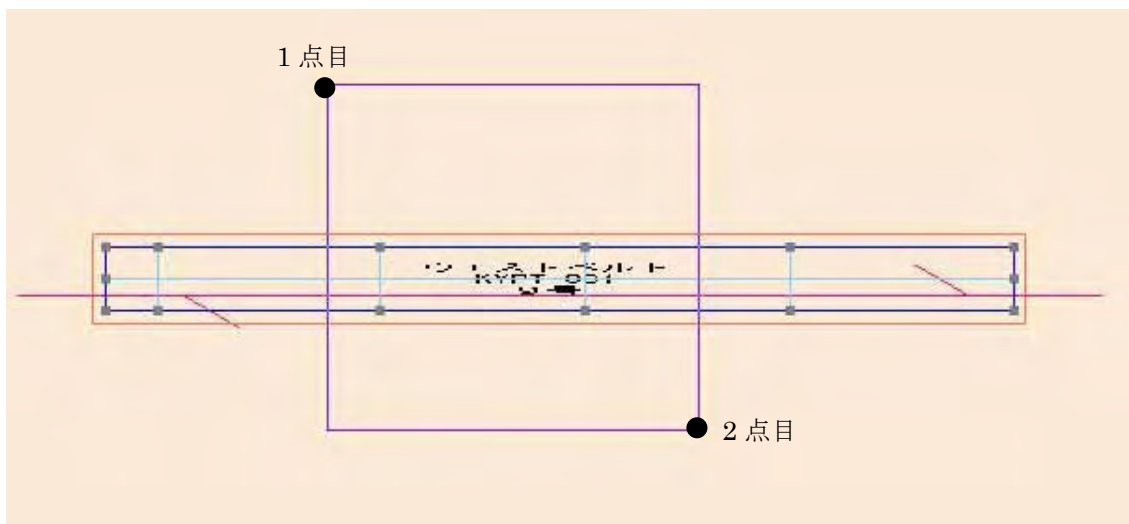
◇回転

線や文字・パーツ等を回転する。

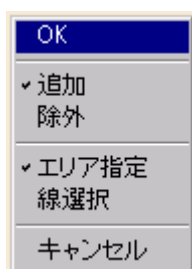
「修正」→「移動／コピー」→「回転」



①マウスで1点目と2点目をクリックして範囲選択する。



②右クリックすると下記のリストが表示されるので、OK をクリックする。



③選択したパーツ内の回転の中心にしたい点をクリックする。

④選択したパーツ内の任意の点をクリックすると、マウスにパーツが付いて回転するので、下記の A、B または C の方法で回転させる。

A： マウスを動かし、任意の位置でクリックして回転。

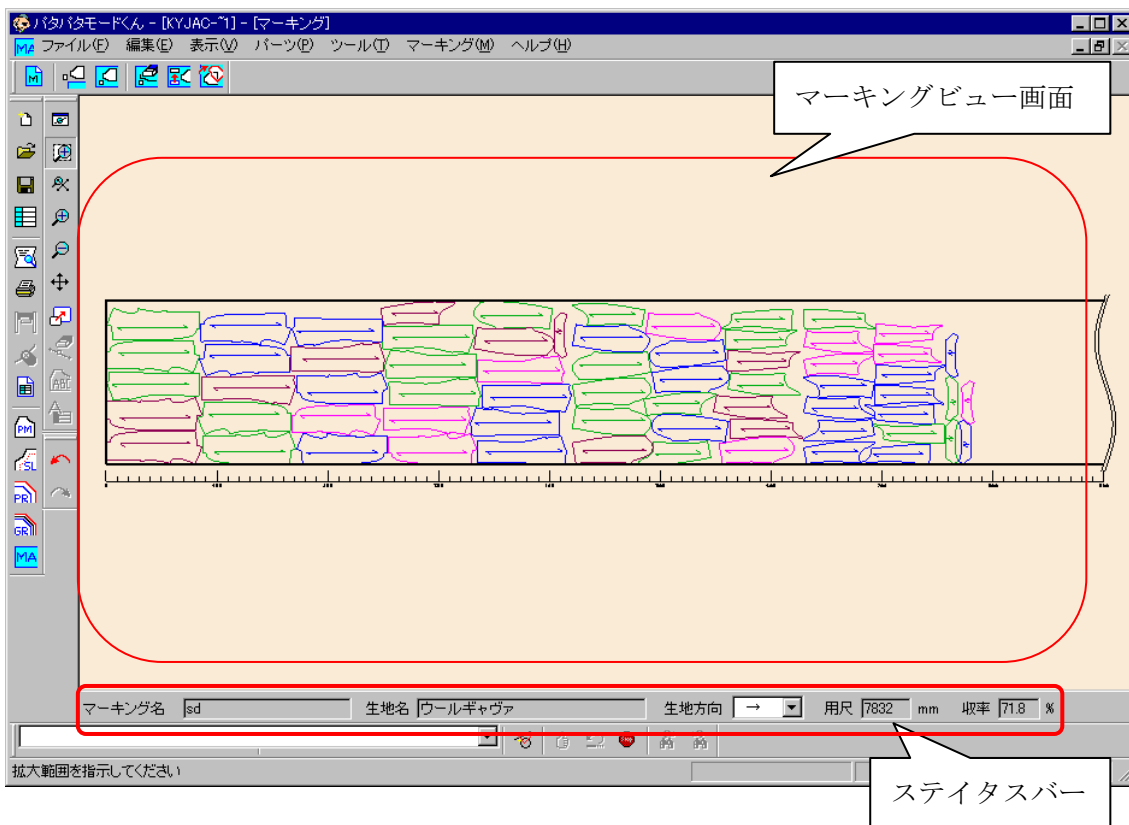
B： 回転角度をキー入力。

C： Ctrl キーを押しながらマウスを動かすと、45° 単位で回転。

※角度は X 軸を基準として左回りに 360 度法で入力。

## ● マーキング

### マーキングステージの説明



※ マーキングステージへ移動すると、パターンビュー画面から、マーキングビュー画面に切り替わる。

※ ステイタスバーの項目

(表示のみ)

- ・ マーキング名
- ・ 生地名
- ・ 用尺
- ・ 収率

(変更可能)

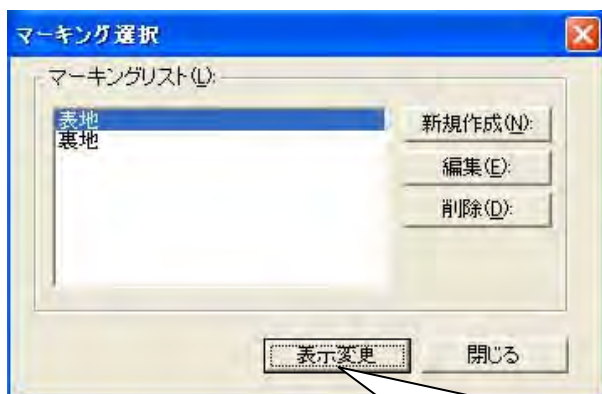
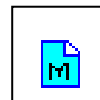
- ・ 生地方向

※ パターンはラインにて表示される。各サイズの色は、グレーディングで表示されている色と同じ色である。

◆条件設定

マーキングの条件設定を行う。

「マーキング」 → 「条件設定」



マーキングデータが複数ある場合、  
表示したいリストを選択し、クリックすると表示が切り替わる

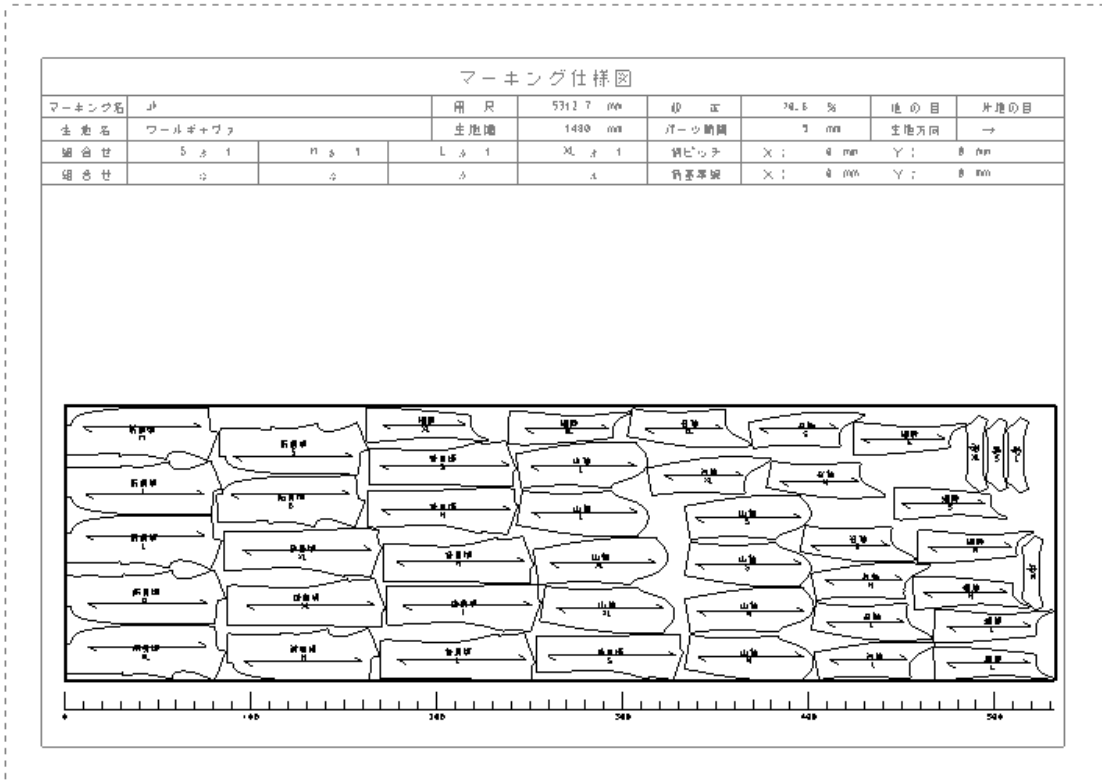
表示したいリストをクリックして選択し、表示変更をクリックする。

◆マーキング結果をプリント出力する

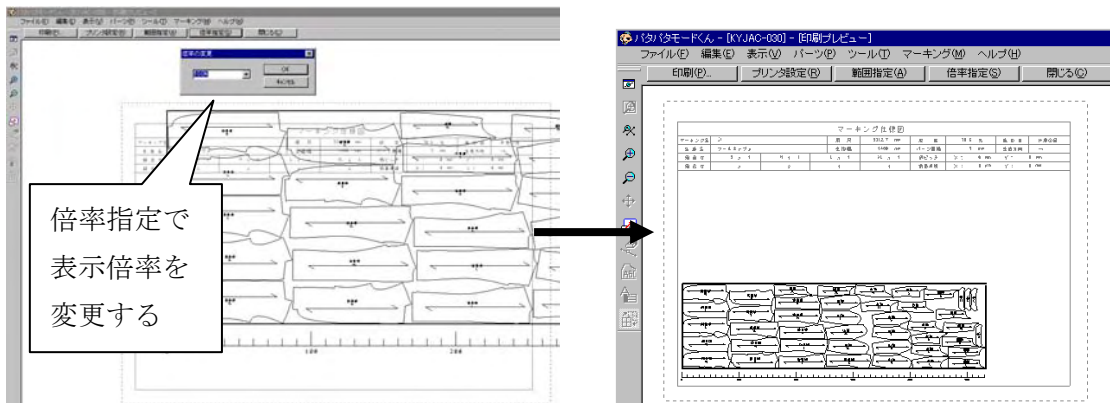
「マーキング」→「ファイル」→「印刷プレビュー」



<マーキング図枠イメージ>



- ① 「プリンタ設定」をクリックし、用紙サイズを A4 に、印刷の向きを横にして OK する。
- ② A4 用紙枠に入りきらない場合は「倍率指定」ボタンを押して、倍率を小さくする。



- ③ 図枠内の配置位置を変更したい場合は、「範囲指定」をクリックして変更する。
- ④ 「印刷」をクリックすると、プリンターから出力される。